

マナー講習会での解説事項

2025/2/26

(改：2025年度版)

東林支部審判部

項目	内容	補足
試合前 会場到着時	<ul style="list-style-type: none"> ・会場に到着したら、速やかに「チームが到着した旨」を大会本部へ伝える。またメンバー表は作成でき次第、速やかに大会本部へ4部（原本を含む）提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー表を提出するタイミングは、攻守決定時ではなく、事前に選手登録原簿と照合する時間が必要なことに注意。
メンバー表	<ul style="list-style-type: none"> ・先発メンバーは、漢字とフリガナでフルネームを記入する。 ・控えメンバーは、カタカナのみでフルネームを記入する。 ・女子選手は、背番号を丸で囲う。 ・行余白部分に学年も記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー表には、登録選手全員を記入する。→記入の無い選手は特別継続試合時の出場を辞退したとみなします。
指名打者	<ul style="list-style-type: none"> ・指名打者制（DH制）を採用することができる（但し、「大谷ルール」は適用しない）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻守決定前に提出される打順表に明示すること。（試合途中での採用はできない。）
攻守決定	<ul style="list-style-type: none"> ・第1試合：試合開始予定時刻の30分前 ・第2試合以降：前の試合の3回終了時または試合開始後60分経過時のいずれか早い方 ・試合で使用する捕手用ファウルカップを持参し審判による点検を受けること。またテーピング等を必要とする選手がいる場合、その選手を同伴して申告を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前の試合が早く終了した場合は、次の試合を試合開始予定時刻前に開始する場合がある。 ・サングラスを持参する必要はなくなった。
ベンチ入りできる人	<ul style="list-style-type: none"> ・監督（30番）/コーチ（29・28番）/代表者1名/スコアラー1名/マネージャー1名の最大6名。 ・選手は25名以内。 	<ul style="list-style-type: none"> ・監督・コーチは20才以上に限る。
給水係	<ul style="list-style-type: none"> ・給水等の世話役（給水係）が必要な場合、上記に加えて、大人2名のベンチ入りが許される。 ・但しその場合は、チームで準備した「ピブス」を着用すること。 ・給水係の役割はあくまでも選手のケアであり、指導/応援のためではないことをしっかりと認識すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「給水係」のピブスは華美な色、蛍光色、番号入りは不可。 ・「給水係」用ストラップの貸出終了。
ベンチ入りする人の服装	<ul style="list-style-type: none"> ・選手/監督/コーチは、ユニフォーム・アンダーシャツ等、全員、同形・同色のものを着用、特に大人はズボンの形状に注意。ただし、スパイクの色は問わない。 ・代表者/スコアラー/マネージャー/給水係はスポーツに適した服装。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背番号コーチ以外のズボンのみを含むユニフォームの着用不可。 ・また、スパッツを穿く穿かないに関わらず、短パンの着用不可。女性も同様。
ベンチ入りする人の携帯品	<ul style="list-style-type: none"> ・サングラスの装着については制限を設けませんが、帽子の底の上に置くことは不可。ミラーグラス使用不可（相模原市ローカルルール）。 ・電子機器類（携帯電話・スマホ・タブレット・カメラ・ビデオ等）の持ち込みは不可。 ・但し、電子スコア記録用の媒体については、1台のみ持ち込みと使用可。 ・メガホンは1個に限り可。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話/スマホについては、昨今のご時勢では常に身に付けている方が大半であるため、携帯すること自体に注意は与えないが、ベンチ内では操作しないこと。
選手用具	<ul style="list-style-type: none"> ・捕手のマスク（面）はSGマーク付きのもの使用必須。（猶予期間終了）（注1） ・大人用（軟式用）のピヨンドタイプ（複合高反発）のバットは使用不可。（猶予期間終了） ・投手のミラーサンブラスの装着不可。その他は制限なく、帽子の底に掛けてプレイすることも可。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（注1）基本的には、軟式少年用ピヨンドの使用は可だが、会場によっては不可の場合もあり。
テーピング・絆創膏・マスク・その他着用品	<ul style="list-style-type: none"> ・テーピング/絆創膏は肌と同系色を基本とし、攻守を決めるトスの際に申告すること（本人同伴）。花粉症対策等でマスクを着装する場合、またはその他本人の事情により着装するものも、同様に申告する。 ・「アイブラック」「サムガード」「ヒットパッチ」「捕手のマニキュア」の装着可。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投手は両手ともに外部から見える範囲には、テーピング・絆創膏は装着不可。
ブルペンでの投球練習	<ul style="list-style-type: none"> ・攻守決定後、会場内にブルペンで先発バッテリーに限り投球練習することができる。なお、ベンチ入りする監督・コーチがキャッチャー役を務めることもできるが、その際もマスクは着用すること。 ・なお、当該試合中においては、先発バッテリーに限らない。 ・また、試合中の投球練習時には、監督またはコーチが危険防止のためにグローブを着けてブルペン前に立つこと。 ・但し、そのためのコーチの人数が足りない時は、予めその旨を攻守決定時に申し出て、ユニフォームを着用していない者でも代用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険防止のための大人はバッター役として立つこと、また投球の様子を見守ることは不可。

	「サイドノック」	・試合前はサイドノックを行うことができる。サイドノックの可能範囲は球場内の自ベンチ側半分であり、その範囲内であれば外野ノックも可能。	・練習に参加できるのは、背番号コーチのみ、それ以外の大人はバックアップのみ。 ・補助員は必ずヘルメットを着用すること。
試合中 (大人)	全般	・ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を萎縮させるような言動は行わない。	・場合によっては退場処分の対象になる。
	整列	・当該試合の審判クルーが所定の位置に集合したら、ベンチから出て一列に整列。球審の合図により、選手はホームベース前に整列する。	・選手以外のベンチ入りメンバーも全員ベンチライン前に出て、同様に整列する。
	応援	・応援 楽器等、鳴り物での応援は行わない。	・ウイッツひばり球場のみ、メガホン等での応援も可。
	ベンチライン	・ベンチラインを越えてグラウンド内に入ることができるのは監督（30番）のみ。（一部「攻守交代時」参照） ・応援席とベンチを区分けするラインも越えないこと。またベンチの後方部にも応援者は立ち入らないこと。（注2）	・（注2）ベンチ入りするメンバーと区別がつかないため。
	カメラ席	・ホームベース付近でのカメラ・ビデオ撮影は、カメラ席用に「カメラ」と記載されている場所での撮影は可。記載がない場合、ピッチャーとキャッチャーの延長線上に90度の角度で設置されているバックネット後方部での撮影は不可。	・センター後方真後ろも不可。
	冷却用タオル	・猛暑対策として選手の首に濡れタオル等を巻く場合も、ベンチ最前列ではなく後方部で対応すること（その状態でグラウンド内に立ち入ることは不可）。	・栄養補給用ゼリー等、補食を摂る場合も、ベンチ後方部で対応すること。
	防寒具	・防寒具としてランナーコーチにジャンパーを着させることは可。投手役の選手が出塁した場合も、球審に申告すれば着用可。	-
試合中 (選手)	全般	・投手が投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと。	-
	投手の準備投球	・初回5球以内、次回以降は3球以内とする。	-
	ロジンバッグの扱い	・投手はロジンバッグを指先だけで使用し、丁寧に扱うこと。	-
	攻守交代時	・各回の先頭打者と次打者、ベースコーチは、ミーティングには参加せず、直ちに所定の位置につくこと。 ・攻守交代時に控え選手がベンチを出て守備練習を見守る場合は、ベンチ直近の位置に留まること。 ・捕手の装具着装はベンチ前で行う。またその場合についてののみ、コーチのグラウンドインは可。	-
	次打者	・攻守交代時に控え選手が投手の準備投球に合わせて素振りをするを禁止する。	-
	打者	・速やかに打者席に入り打撃姿勢をとること。また、打者席内でサインを見ること。	-

※赤字：2025年度改定事項

※青字：注意事項